

【6月スポット原稿】

皆さん、私たちは憲法共同センターです。先月5月3日、日本国憲法施行71年の記念日を迎えました。この71年、私たち国民は、憲法の平和と人権と民主主義の原則を根本から壊そうとするアメリカや日本の支配層に対して、それを許さず、憲法を日本の社会と政治に生かそうと努力を続けて来ました。

今、公文書改ざん、「日報」隠し、セクハラ等、政権を揺るがす大問題が明らかになり、内閣の支持率が大幅に下落しているもとでも、安倍首相と自民党は3月25日の党大会で改憲への強い意欲を示し、改憲に突き進もうとしています。でも、ウソをつき続けて、国会と国民をだまそうとすることは、民主主義を土台から破壊するものです。安倍首相に改憲を語る資格などあるのでしょうか。まずは、安倍政権のウミを出し切ることが必要ではないでしょうか。ウソと不正を許さない、その国民の声を3000万人署名で届けましょう。

皆さん、戦後日本が海外で武力行使しなかったのは、憲法9条が存在していたからに他なりません。憲法9条を変えて、「戦争する自衛隊」に変える改憲は絶対許されるものではありません。ましてや、公文書改ざん等に見られるように、国民を欺き、うそをつく政権に改憲する資格はありません。「安倍政権の下での改憲反対」61%（4月25日発表 共同通信）と改憲反対が様々な世論調査でも多数を占めています。

皆さん、今、朝鮮半島の情勢が大きく動いています。去る4月27日、韓国の文在寅大統領と北朝鮮の金正恩国務委員長が首脳会談を行い、核のない朝鮮半島の実現、年内の朝鮮戦争終結と平和協定の締結、一切の敵対行為の中止などで合意し、両国政府はすでに具体的行動を始めています。また、開催が危ぶまれましたが、6月12日にシンガポールで米朝首脳会談が開催されようとしています（ました）。

今回の南北首脳会談・米朝首脳会談は、「戦争は絶対ダメ。ましてや核戦争などもっての外」という日本・アジア・世界の切実な市民の声と運動の結果であり、文字通り歴史的な会談となりました。日本国憲法9条の徹底した平和主義が、今ほど輝きを増しているときはありません。「平和的生存権」（前文）、「戦争の放棄」、「戦力の不保持」・「交戦権の否認」（9条）を謳う憲法を持つ日本は、安倍政権のような「圧力一辺倒」から「交渉による問題解決」に方向転換し、今からでも世界中の紛争解決の先頭に立つことが求められているのではないのでしょうか。

私たち憲法共同センターは、安倍9条改憲に反対するとともに、憲法の蹂躪を許さず、憲法を守り生かす運動を推進しています。ご一緒に、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を謳う日本国憲法が生きる社会を実現させようではありませんか。そして、今、全国で市民の共同、市民と野党の共闘で燎原の火のようにひろがる「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」（3000万人署名）を成功させ、改憲NO！の世論をゆるぎないものにし、国会での改憲発議をさせないようにしましょう。国民が施行後71年間守って来た日本国憲法を、嘘をつき、国民を欺き、政治の私物化をすすめる安倍首相に変えさせてはなりません。

皆さん、3000万人署名にご協力をお願いします。